

あさかわ

議会だより



フラボー！なサッカーを

浅川サッカースポーツ少年団
(浅川SSS)

メンバー募集中

固定資産税の前納報奨金を廃止	2
補正予算	4
一般質問 10人の議員が町政を問う	6
第4回議会改革検討会	17
緊急支援で臨時議会	18
ふるさと写真館	23
町民の声 (小針正毅さん)	24

資産税でも廃止

条例改正

12月定例会は8日（木）から13日（火）まで開催されました。庁内でコロナの感染者が増えた影響で、9日に予定されていた一般質問は13日に行われました。江田町長が提出した条例改正や補正予算など11の議案は、すべて原案の通り可決しました。

公平性から

多くの自治体が廃止

戦後の混乱期、税収の早期確保と納税意識を高めることを目的に全国の自治体で導入された前納報奨金制度。しかし、資力に余裕がない人は利用しにくく、納税者間や他の税目とで不公平が生じている。

【質疑】

問 前年度の実績で、前納報奨金の件数と報奨金の総額はいくらになっているか。

答 令和3年度は件数で1740件、前納報奨金は717万円となっ

ため、すでに多くの自治体で廃止されており、当町でも令和5年度から廃止するため税条例を改正する。町県民税の前納報奨金は平成29年度から廃止され、固定資産税だけが残っていた。

問 前納報奨金がなくなったら収納に影響が出てこないのか。

答 町県民税の時もそれほど影響なく納めて

いただいた。今、多くの方が口座振替とかコンビニ納付なので、収納率は例年通りになると思っている。

問 石川郡内の状況はどうなっているか。

答 石川町、古殿町、

玉川村は固定資産税の前納報奨金制度をすでに廃止している。平田村は現在も行っているが、上限10万円と定めがある。

問 前納報奨金の計算方法は。

答 1期以降、2期からの分で計算すると、15ヶ月分の月数をかけ、交付率1%で税額をかけて出す。

【採決】

全会一致で可決しました。

特別職の期末手当と 職員の手当・給与を引き上げ

議員の期末手当引き上げ

職員の給与等について福島県人事委員会の勧告にかんがみ、期末手当の支給割合を引き上げる条例の改正を提案し、同様に議会議員の期末手当を今年度から0.05月引き上げるもの。

げに町民の理解は得られない。

―賛成討論―

会田議員 今、全国的に地方議員のなり手がないという状況がある。期末手当が若干上がる程度だが、人材確保の観点からも賛成したいと思う。

【質疑】

問 引き上げになると議会全体ではいくらの増額になるのか。

答 引き上げ分の総額は約15万円になる。

【討論】

―反対討論―

角田議員 働く人たちの賃上げは急務だが、議員はほかに職業をもっている。この厳しい中、議員の期末手当引き上

【採決】

賛成9人、反対2人で可決しました。

「前納報奨金」固定

町長等の期末手当の引き上げ

県人事委員会の勧告の趣旨にかんがみ、期末手当を今年度分から0・05ヶ月分引き上げるもの。

角田議員 町長等には任期が終るたびにそれなりの退職金が出されているので賛成できない。

【質疑】

問 この改正で年間どのくらい増額になるのか。

答 町長、副町長、教育長の三役あわせて約11万円となる。

【討論】

― 反対討論 ―

賛成9人、反対2人で可決しました。

【採決】

賛成9人、反対2人で可決しました。

― 賛成討論 ―

菅野議員 これまで三役についてもたびたび減額してきた。ここで多少増額しようということであり、額も可能なものなので賛成する。

職員給与と手当の引き上げ

県人事委員会勧告にかんがみ、若年層の給料月額と期末勤勉手当を0・1ヶ月分引き上げるもの。

なるのか。

答 一般職員の手当は総額約183万円、会計年度任用職員を含めると約236万円となる。

【質疑】

問 改正によって年間どのくらい増額に

【採決】 全会一致で可決しました。

65歳定年に段階的に移行

国家公務員の定年が60歳から65歳に段階的に引き上げられ、役職定年制が設けられたことをふまえて地方公務員法も同様に改正されたため、当町も同様の規定に改めるもの。令

和5年4月から7年3月までを61歳に、以降2年ごとに1歳引き上げ、令和13年4月から65歳とし、役職は60歳で終りとして非役職に降格・異動させるという内容。

【質疑】

問 令和13年度で完了するわけだが、13年度の職員の年齢構成比のシミュレーションは行っているのか。

答 もちろん把握している。現在、若手職員が多く平準化されていないということが当町にはある。今後採用等に当たっては、そうした観点で定員採用計画を定めていく必要があると考えている。今までは退職者補充で採用してきたが、年齢構成がいびつにならないよう採用計画、定員管理計画を検討していきたい。

【採決】

全会一致で可決しました。

段階的な引上げ期間中の定年と完成型の定年

	原則
現 行	60歳
令和5年4月～令和7年3月	61歳
令和7年4月～令和9年3月	62歳
令和9年4月～令和11年3月	63歳
令和11年4月～令和13年3月	64歳
令和13年4月～【完成形】	65歳

応型デイサービス施設

一般会計補正予算

令和4年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1280万円を増額し、総額を38億4418万円とするもの。

歳入の主なものは、国からの補助金が防災安全交付金（道路）2000万円、県からは、認知症対応型デイサービス施設整備補助金1190万円、個人町民税増額分1222万円でした。

歳出では、町道大名大塚箕輪線の歩道改修工事費3400万円、畑田地内防災無線改修費に440万円、生活環境改善サポート事業100万円、城山頂上支障木伐採委託料100万円が計上されました。



■主な補正の項目

（単位：万円、千円未満切り捨て）

歳入

項目	補正額
防災安全交付金（道路）	2000
認知症対応型デイサービス施設整備補助金	1190
個人町民税	1222
社会資本整備総合事業債	1250

歳出

項目	補正額
町道大名大塚箕輪線歩道改修	3400
畑田地内防災無線改修	440
生活環境改善サポート事業	100
城山頂上支障木伐採委託料	100
Jアラート追加業務	50

認知症対応型デイサービス施設の内容は

【質疑】

問 大平病院跡地に整備予定であったグループホームが諸般の事情で撤退となったが理由は。

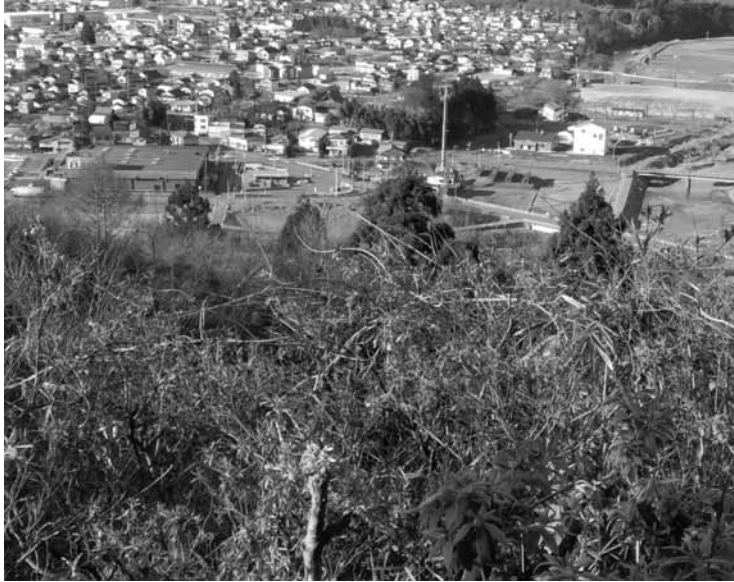
新たに城山下へ認知症対応型デイサービス施設が整備されるとのことだがどのような施設なのか。

答 グループホーム撤退の理由は、物価高騰により建設費が1・5倍になったのと、現在運営している施設の入居に余裕があるのとのことであった。

新たな認知症対応型デイサービス施設の概要は、場所が浅川町大字浅川字根宿地内、建物面積

は151・54㎡平屋建て、利用定員12名で、認知症に悩む高齢者と介護者の負担軽減のための、認知機能トレーニングや食事、レクリエーション及び入浴サービス、身体機能、認知機能維持に効率のあるリハビリの提供となっている。

城山下に認知症対



城山頂上案内看板付近から

城山頂上の 支障木伐採の内容は

問 城山の景観保全のため支障木の伐採はどのような作業内容なのか。

答 城山からの町並みの風景が木で見えにくく写真を撮るのにも支障があるとのことから、根元から伐採するので、はなく枝などを切って町並みを見えやすくする作業である。

生活環境改 善サポート 事業増額の 内容は

問 サポート事業が増額になったが、最近の利用はどのような特徴があるのか。

答 予算は25件分の500万円計上していたが、25件の申し込みがあった。利用内容については、屋内の段差改修や屋根の改修などがあるが、下水道接続工事が増えている。

長周期地震 動情報の運 用開始

問 Jアラート全国瞬時警報システムの追加業務の内容は。

答 令和5年2月1日から緊急地震速報のうち、長周期地震動の情報について自動的に防災無線を通じて周知することになるが、その音声データを追加するための業務である。

防災無線の 修理原因は

問 以前城山下の防災無線が落雷で故障したため予算計上された。今回は畑田地内の修理となるが原因は同じく落雷なのか。

答 城山下と同様、落雷による破損、燃焼等があり装置の交換となる。

【採決】 全会一致で可決しました。

12月定例会採決一覧

全11議案中9議案は全会一致で可決しました

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案名	富永 勉	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田 勝	水野秀一	議決結果 (賛成：反対)
議会議員の期末手当に関する条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	可決(9：2)
浅川町長等の期末手当に関する条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	可決(9：2)

10人の議員が質問

(通告順)

1 富永 勉 議員

- (1) 公共施設の老朽化に伴う中期的展望について
- (2) 町民参加の活力あるまちづくりについて

2 会田 哲男 議員

- (1) 0・1・2歳児の保育料の無料化の実施について
- (2) 大型遊具・芝生広場等のある新たな公園の設置について
- (3) 小中学校不登校への取組・対応について

3 菅野 朝興 議員

- (1) 町内産品の地産地消の強化を
- (2) 118号線に城山への誘導看板の設置を
- (3) 町ホームページの改善を
- (4) フィットネス器具を夜間も使用出来ないか
- (5) ふるさと納税の改善をすべき
- (6) 県道磐城浅川停車場線に新たな名称を

4 岡部 宗寿 議員

- (1) 石川地方生活環境施設組合で運営している最終処分場の件について
- (2) 町長2期目の抱負と決意について
- (3) 中学校建設について

5 兼子 長一 議員

- (1) 江田町長2期目の方針と来年度予算編成について
- (2) 公共施設を利用する高齢者と障がい者への配慮について

6 須藤 浩二 議員

- (1) 中学校建設について
- (2) 町特産品について

7 木田 治喜 議員

- (1) 町内企業撤退・閉鎖に伴う町税への影響及び企業誘致の具体策について
- (2) 小学校の教科担任制の現状について
- (3) 町道の維持管理状況について

8 渡辺 幸雄 議員

- (1) 野菜、花卉生産者への品目別の肥料等の高騰対策補助を考えるべき
- (2) 花火の里ニュータウン周辺の草刈作業について

9 上野 信直 議員

- (1) 浅中建設工事に伴い生じる授業や部活への支障とその対策は
- (2) コロナの濃厚接触となり長期欠席を余儀なくされた児童生徒へのフォローは
- (3) 国の支援が届きにくい「課税世帯」に町独自の支援を
- (4) 消費税のインボイス導入で零細業者が町との取引から外されることにならないか
- (5) 待機者が待ち望む管内の特別養護老人ホームの増床の見通しは
- (6) 新年度からタクシー助成券を増額して高齢者の足の確保を

10 角田 勝 議員

- (1) 学校給食費無料化の公約実現について
- (2) 地震や大雨などの災害見舞金(町)等、支給額などの増額と適用緩和について
- (3) 町管理の山白石、日影川の災害予防工事について
- (4) 小、中学校の不登校生徒の現状と改善はどのようになされていますか
- (5) 滝ノ台ニュータウン宅地は具体的に売るための努力はなされたのですか
- (6) 町農業の振興をはかる施策を

町政を問う

一般質問は12月13日に行われ、
通告した10議員が町長等の考え
を質しました。傍聴者は4人
でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議
員が住民の代表として行政
全般にわたり町当局の考え
や疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の
見直しや政策を提言する重
要な活動の場です。

老朽施設の更新計画と 財政状況は



富永 勉議員

中学校の次は小学校を進めたい

問 当町の公共施設は建築後30年以上が数多く、将来的に更新費用が集中的に増大する事が推測される。中学校は事業着手しているが、特に老朽化が進む小学校・役場庁舎・中央公民館等対応が必要な先送りできない事業につき、更新計画と財政状況について伺う。

① 具体的にどのような順序で、どのような更新施策とするのか。

② 更新に伴う財政状況の見通し、健全化判断の推移はどうか。

町長 ① 中学校の次は小学校建設を進め、5年以内に検討させて、できれば中学校の隣に持つていきたい。中央公民館、町民体育館、役場庁舎の更新については、議会や町民の皆様のご意見を踏まえ検討してまいります。

② 健全化判断の一つの実質公債費比率の試算は、令和7年度単年度で9・7%と令和3年度の5・1%より増加する見込みである。

副町長 ② 計画的な更新の必要性の問題意識は共有している。今後は小学校を始めとした公共施設の更新の時期を改めて整理していく。

町民参加の活力ある まちづくりを

未来への生き残りをかけて 取り組む

問 これまで、人口減少に歯止めをかける様々な対策を講じてきたが、

実現には程遠い状況である。町の活性化を求めて、町民参加の一体となった新たな町づくりの施策を展開すべきと考える。

① 若者や女性の発想やアイデアを活かした推進体制の構築。

町長 ① 既存の青年組織や女性組織などとの連携をさらに深め、その声を吸い上げ町づくりに活かしたい。未来への生き残りをかけて、様々な方と意見交換してまいります。

② 若手職員の提案制度、意欲向上・人材育成へつながる体制の構築。

② 職員の意見や思い、考えを活かす事は、意欲向上、人材育成につながり、行政サービス向上に有用である。今後仕組み作りを検討したい。

③ 新たな町づくりに向けた部署（係）を創設し活性化に向け機能発揮。以上3点の提案

③ 住民サービスを向上させる目的で機構改革



昨年のさんぎょうまつり

0～2歳児の保育料無料化を

財政上厳しいがさらなる軽減を進めたい



会田哲男議員

問 0～2歳児保育料は2分の1に軽減されているところだが、物価上昇、実質賃金低下の中、若い保護者の負担は容易でない状況だ。無料化の町村も増えている。子育て支援・定住・住みたい町づくりのために、早期に無料化すべきと思うが。

①現在の2分の1軽減の理由・根拠と0～2歳児の人数及び納入者数。

②県内の0～2歳児の無料化市町村の把握は。

③予算編成時期に当たり精査し無料化を実施すべき。

④育児休暇取得により3歳児未満の第1子が

一時退所しなければならぬ状況があるのか。あるとすれば、冷たい対応であり、預かるべきと思うが。

教育長 ①子育て支援の一環として利用者負担額は、基準額の半額としている。0～2歳児は55人で、無料の子供は5人。

②県内59市町村のうち13市町村で無料化を実施。近隣では中島村、平田村、古殿町。

③厳しい財政状況を踏まえると無料化は、さらに検討が必要と考える。

④一時退所し、家庭保育となるが、事情により家庭保育が困難の時は預りは可能だ。実情にに応じ弾力的に対応する。

町長 無料は大変厳しいが、さらなる軽減を進めたい。

大型遊具・芝生広場の ある公園の設置を

大きな公園設置構想はもっている

問 第5次振興計画策定に係る中学生へのアンケート結果をみると、公園や遊び場が欲しいとの回答が多い。また若者世代・祖父母世代からも子どもたちがのびのび遊べる大きな公園が欲しいとの声が届いている。後期基本計画でも公園整備の検討を掲げている。子育て支援、多世代交流の場として新たな公園の設置が必要だ。

多くの町民が望む新たな公園の設置に取り組むべき。

町長 新たな公園の設置は、すぐに活用できる補助金がないことから、すぐには難しい。そのため、こども園を毎週土曜日に開放した。

園の意見は来ている。若い世代にも近い将来必ずつくると言っている。だが今すぐはできない。子どもたちが喜ぶ、他町村からも来る公園はつくりたい。もう少し待って欲しい。

①今までも質問してきたところだが、国県補助金、採択要件等の調査・検討はしているか。

②早急に実施計画に反映し、年次計画を立て、

再質問 土曜日の園庭開放では、活用、遊び等の面から、町民が望むものとは程遠い。ぜひ振興計画に載せ取り組んで欲しい。

町長 遊べる大きな公



町内産品の地産地消の強化を



菅野朝興議員

創意工夫してやりたい

問 地産地消が叫ばれて久しいが、具体的な対応や対策がなされていないと感じる。そこで、より具体的な策を打つ必要があるかと思う。町の事業者を応援する事により雇用が守られ、事業継続の意欲も増すかと思う。町内では、食品の生産も盛んに行われている。米・野菜・卵・油などあるが、町内で生産したものが、町内で卸されていないものもある。

①学校給食やふるさと納税の返礼品などに参入できる業者もあるかと思うが何う。
②毎月や季節ごとに地産地消の呼びかけをするべきでは。
③お土産品やお中元、お歳暮の開発。町内産品の組み合わせ、コラボ商品などできるかと思うが何う。
④町内産品をスーパーやコンビニに置いてもらってはどうか。

町長 ①学校給食については、地元の食材も使用している。ふるさと納税の返礼品については、充実を図るため、地元の業者をお願いしたので種類が増える予定。
②今後、創意工夫をしながらやりたい。
③今、創意工夫をしている。
④スーパーでは、ネギなど様々なものを売っているかと思う。いろんな面で力を入れていきたいと思う。

県道磐城浅川停車場線に新たな名称を

地域全体の盛り上がりが必要

問 現在、県道磐城浅川停車場線の道路の延伸工事が行われている。特に、名称などない

町長 福島県では、特別な道路を除いて、通称道路名や愛称道路名の設定は行っていない

聞いたが、浅川駅前から118号線に繋がる主要な道路となり、その道路に相応しい道路の名称が必要ではないかと思う。町民からは、吉田富三さんの昔の自宅の近くを通るので、富三通りにしてはどうか？などの意見が出ています。須賀川ではウルトラマン通りというような事で親しまれている。町長の意見を伺う。

が、地域住民に親しみやすく、道路の所在を分かりやすくすることを目的として、行政や地域団体、商工会議所、商工会などが、愛称等を設定している事例が県内にも多く存在している。駅前通りに愛称等を設定することについては、駅前の方々や周辺地域の方々にとどの様に呼ばれているかなどを含め、まずは地域全体の盛り上がりが必要であると認識している。



形が見えてきた延伸事業

町長 2 期目で 1 番と考える事は何か



岡部宗寿議員

中学校を着工したい

問 4 年前町長になった時私も議員になり 12 月議会ですべての質問をした。その時公約の話をし、町民は町長が言った公約に夢を託したと、だからその夢を壊さないでいただきたい、実行するにはやはり議会との意思疎通を図る必要があるのではと伺った。町長が掲げた今後の目標、取り組みや徹底した子育て支援と福祉、そして多くのその他の事業がある。そこで伺う。

① 町長が考えている一番は。

② 町民との話し合いは。

③ あさマルシェの運営は。

町長 ① 来年度は中学校を着工したいと思っている。完成したら隣に小学校を建設したい。2 期目もインフラ整備をはじめ町民が幸せな町づくりを進めたい。

② 町民との話し合いは大事で、今まで出向いて行ったり呼ばれたりした際は話し合いをしてきた。町民との座談会はコロナの状況をみて実施するかどうか判断したい。

③ 少しずつだが売上げも伸び、利用者から助かっているとの声もある。まだまだ改善や発展の余地があり、よりよいものにしていきたい。

問 ① なぜ 3 階建てが必要なのか伺う。

② 小中一貫校の話が出ているが、いつからその話が出てきたのか伺う。

③ 検討委員会に出された以外の業者の案件も見てみたいが可能か伺う。

④ 町民や議会に対して説明は十分だったと思うのか伺う。

教育長 ① 福島県の学級編成は 1 クラス 30 人が基本で、新校舎完成の令和 6 年度を含め 5 年以上 30 人を下回る生徒数にはならず、今と同じ各学年 2 クラスの教室を確保する必要があり、また、将来的に同一敷地内に小学校建設を見据えた計画としても、敷地の有効活用が図れるので 3 階建ての新校舎としている。

② 現在進めている中学校建設は、小中一貫校として建設しているものではない。

③ 町から福島県建築設計協同組合に要請があれば見せることは可能との回答だった。

④ 広報あさかわで 9 回説明し、町民の意見も募集している。議会へは 5 回の全員協議会で説明し、4 回の行政報告を行い、一般質問は

中学校はなぜ 3 階建てなのか

クラスの確保と小学校建設を見据えたため

6 議員から 42 項目の質問に答えてきた。今後皆さんに説明し、意見をいただきながら進めていく。



完成予想図

町長 2 期目の方針と 来年度の予算編成は



兼子長一議員

全ては町民のために取り組む

問

町長の座右の銘である「全ては町民のために」をどのように進めるのか、また、来年度予算にどのように反映するのか。

①町政運営で町民との直接対話が大切だと思うが「町民対話の日」を設ける考えはあるか。
②2期目において重点的に進めて行きたいと考えている政策は。
③令和5年度の予算編成は、浅川中学校建設などの大型事業を控えており、物価高騰、電気料の値上げで経費と財源確保の調整が課題だが編成方針を伺う。

町長

①町民との対話は大事である。1期目の時から、子ども、若者、高齢者の方々とスポーツやイベントを通じて会話をしてきた。

「町民対話の日」を設けることは、コロナウイルス感染対策もあるのでもう少し待っていただきたい。
②インフラ整備をはじめ、町民の要望等を一一つ解決して、全ての町民が幸せな町づくりを進めたい。
③第5次振興計画の「暮らしやすさ」「新たな活力」「人と人とのつながり」に基づき効率的な予算編成をする。

副町長

全国的に物価高騰とかコロナなど状況が大きく変わってきている。

来年度の予算編成は厳しいものになると思っているが、予算をつけるべきところにはつけるという方針で行く。

高齢者と障がい者にやさしい公共施設づくりを

検討課題であり進めていく

問

①町の公共施設のうち不特定多数の人が

利用する施設で車いす用スロープ、点字ブロック、多目的トイレが設置済と未設置の施設は。
②福島県の人にやさしいまちづくり条例による「福島県やさしさマーク」の交付を受けている施設は。
③役場窓口で手話の対応はできるのか。また、手話のできる職員はいるのか。
④須賀川地方広域消防本部通信司令室で運用している。Net119緊急通報システムの利用方法を聴覚障がい者などに周知をしている

のか。

町長

①設置済みの施設は中央公民館、あさかわ図書館の他9施設、未設置は役場庁舎、歴史民俗資料館の他4施設である。
②「やさしさマーク」を取得しているのは、吉田富三記念館、勤労者体育センターである。
③筆談で対応している。あいさつ程度の初歩的なやり取りができる職員が若干名いる。
④システム運用が始まった令和2年12月に消防署とタイアップして説明会を開催した。引き続き消防署と連携して周知をしていく。



設置済みの武道館

中学校建設に伴う 生徒・保護者への説明は

今後とも随時説明し意見を頂く



須藤浩二議員

問

①なぜ、在校生や保護者に対しての説明や意見交換を行っていないのか。

②子供たちが勉強をしながらの建設工事で、騒音や安全の確保は本当に大丈夫なのか。

③里白石小学校を仮設校舎にすることはできないのか。

④せつかく建て替えるのだから、もっと丁寧な話し合いをして、より良い校舎を建てるべき。

教育長

①保護者に対し、令和3年4月のPTA総会にて説明会を行った。生徒・教職員に対しては、令和4年

7月に概要説明と意見交換を行った。

②工事区域を仮囲いし生徒等と工事関係等の動線を分離し、安全管理を徹底する。騒音対策は、防音シート、工場での加工・組立、授業に支障ない時間帯の作業等で進めたい。

③教室や体育館も狭く、不足する分の一部仮設校舎を増設する必要がある。また、校内ネットワーク環境の再構築や各修繕工事を行う必要があるなど、授業や部活動へ影響が生じるため、現校舎を利用しながら安全に配慮した上で進めていきたい。

④随時、議会や町民、教職員・生徒の皆さんに説明し、ご意見を頂き進めたい。

問

①浅川町のイメージと一緒に引き上げてくれ、もうかる農業の後押しとなる、農産物の特産品をつくるべきと考える。

②通年、町内の商店で買える特産品の開発をするべき、また、「特産品認定シール」というものを貼り、付加価値を付けてはいかかがか。

町長

①町内各種生産者組織や認定農業者会、そしてJAと連携しながら特産品開発に取り組んでいる。特産品のシールは検討したい。
②町の特産品である、あさかわ漢方資材栽培米を町内にて販売できるように手続きをしてい

町特産品の開発を

生産者・JA・町と共に進める

農政課長 ②身近にある野菜で持続可能なものを選定して特産品に結びつけたい。



町道の維持管理状況は

随時対応している



木田治喜議員

問

幹線道路の整備は町の未来に影響し、町道の整備は町民の生活の活性化や利便性に影響する。町道の白線等の維持管理状況を伺う。

①自治会等からの町道に対する3年度要望件数は。

②町道の維持管理体制は。

③新町荒町線月斉陣場地内は交通量も多く、白線のカスレや損傷が激しいが対応は。

④高齢者がシルバーカーを押して歩く時、段差等で危険な町道に対してバリアフリー化を積極的に進めないのか。

町長

①令和3年度実績は、住民からの要望や通報等が41件、行政区からの要望が33件あった。

②年間スケジュールの決定方法については、予算額が大きい入札工事は前年度末までに決定し、行政区要望については、現地確認後、緊急性を判断し工事時期を決めている。また、各種行事などに関する道路の修繕については、各種行事の前までに完了する計画としている。体制は一般職の兼務職員が1名、会計年度任用職員で専従の道路作業員5名で対応している。

③住民からの通報等や道路パトロール等で発見した緊急性のあるものについては、随時対応している。

④道路改修の際には、段差がなるべく少ないような形で進めている。

小学校の教科担任制による現状は

理科と書写で行っている

問

令和元年12月中央教育審議会が教科担任制について令和4年度をめどに小学校5・6年生に本格的に導入すべきとの方針により、授業の質を上げ、教員の授業準備の負担を減らして働き方改革にも繋がり、教育格差を生まないためにも積極的に推進すべきとの思いから伺う。

増員有無は。

⑤浅小の教科担任制の実態は。

教育長

①教科の専門性を持った教師が授業を行うので、授業の質の向上、児童の学習内容の理解度、定着度が期待できる。

②メリットは、専門教師の指導により、児童の学習理解が深まる。相談できる教師が増える。デメリットは、教科横断的なカリキュラム・マネジメントが難しい。

③文科省では、英語、算数、理科、体育を対象としている。

④今年度は、教科担任制による加配はなかった。

⑤今年度浅小では、5・6年の理科と書写で行っている。

①教科担任制とは。

②教科担任制のメリット・デメリットは。

③教科担任制において専科指導となる対象教科は。

④教科担任制を進めるに当たって浅小に教員の



そさい かき 野菜、花卉生産者への品目別の肥料等の高騰対策を



渡辺幸雄議員

今後の検討課題としたい

問 稲作農家への補助、種子、肥料への補助対策は行われているが、野菜、花卉を生産している農家へは、種子購入代への補助金のみである。露地栽培、施設を利用して生産に取り組んでいる生産者へ、肥料、農薬、資材等の補助をすべきと思う。現在、消費者ニーズや安全性、安心志向が非常に高くなっているため、決められた農薬の使用、化学肥料の削減などで生産者コストが逆に増加している。補助をすべきと思うが、考えを伺いたい。

町長 町においては、今年度、春先に水稲種子購入補助金、9月には前年度に農業所得のあった農業者を対象に支援金を交付している。さらには、さきの臨時議会で畜産農家への飼料高騰に対する補助を今後行っていくこととしていく。これらにかんがみ、野菜、花卉の生産対象の補助金については今後の検討課題とさせていただきます。

花火の里ニュータウン 周辺の草刈作業は

先日発注した



草刈後のニュータウン

問 ①毎年実施している東側斜面の草刈作業は、今年度は実施しないのか。今までは毎年8月頃までには実施していたが、今年からは実施しないのか考えを伺いたい。
 ②売却済みの宅地に松の木などが生えてきている。持ち主に連絡して町で伐採すべきと思うが考えを伺いたい。

町長 ①ニュータウン周辺の草刈は、例年、森林組合にお願いしているが、今年度は請け負うのが困難とのこと、何とか別の業者をお願いし、先日発注した。業者の準備ができた。業者の準備ができた。業者の準備ができた。業者の準備ができた。

②道路の通行に支障となる樹木などは、土地の所有者に連絡し、管理をお願いしている。伐採できない場合は、町が伐採する。民地の樹木などにも、適正に管理いただくよう、随時、連絡する。

浅中建設工事で想定される授業や部活への支障と対策は

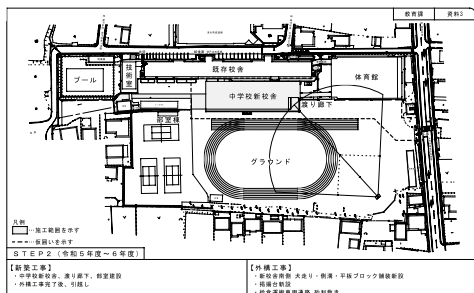


上野信直議員

騒音は極力抑える対策を講じる

問 新年度からいよいよ浅中の建設工事が始まる。計画では造成工事が4月から、建物建設工事が5月から行われる。新校舎は現在の校舎のすぐ南側に建つので、工事期間中、授業や部活にいろいろ支障が出るのが考えられる。それらを今から洗い出して可能な限りの対策を講じることが必要だし、対策を生徒や保護者に説明しておくことも大事だ。その観点から、想定される授業への影響と対策、想定される部活への影響と対策を伺う。

教育長 授業については工事に伴う騒音と校庭での体育の授業への影響が考えられる。騒音については防音シートを設け、工事現場での直接的な加工を避け、それでも大きな音が出る作業は授業に影響のない時間帯などに進めるなどの対応をしたい。新校舎に隣接しない現校舎西側の空き教室に2クラス分の教室を移動したい。体育の授業は校庭の南側を利用して行う。屋外での部活である野球部は、町民グラウンドを優先して利用できるようにし、ソフトテニス部は勤労者体育館わきのテニスコートを優先して使えるよう配慮したい。



てタクシー助成券を増額して高齢者の足の確保を

必ず新年度から増額する

問 大変好評な制度だが、もっと助成を増やしてほしいという声も切実に出されている。

町長 増額については来年度に向けて検討させていただきたい。このタクシー助成券は3年前からやっているが、本来に高齢者からいい反応が来ている。令和5年度からは増額させていた。ただ、今の金額は、財政的な面があるのはいくらとは言えないが、必ず増額したい。

交通弱者である高齢者の支援策として、助成券の増額を新年度から実施すべきではない

学校給食費無料化の公約実現を

令和5年度からの無料化に努力する



角田 勝議員

問 9月議会で実施のために「前向きに検討します」と答弁し、今年度の町長選でも公約した。ほとんどの町民は実行されると注目している。管内でも古殿町は以前から、平田、石川でも来年度から無料化が実施されるとのことだ。浅川町でも「子育てするなら浅川町で」と言われる町づくりを目指している。

①来年度より実施すること。

②財政的にも昨年度決算で1億6千万円の赤字であり、必要な1800万円の負担は無理なことではない。



町長 給食費の助成については平成28年度より、半額助成を実施している。給食費の無料化については、その必要性を感じている。現在、町全体として、令和5年度当初予算編成にあたっての補助金等の見直しを進めながら、財源確保に努めているところでもある。本来であれば国が、子どもたちが少ない中で学校給食費は無料にするのが当たり前だと思っているし、近い将来そうなると思う。そこで令和5年度から学校給食費の無料化を実施する方向で努力する。

町農業の振興をはかる施策を

販路拡大へのでこ入れなど力を入れたい

問 今、世界的に「ブーチンの戦争」や異常気象によつて食糧難となっている。日本も米国より70万トンもの米輸入をして異常である。また、畜産の飼料など急騰して日本農業は危機的な状況だ。町もできる限りの援助をし、町農業を守り振興させていくべきだ。

①米のブランド化、花火の里の有機米など。

②地産地消の作物づくり、給食やマルシェでの加工品づくり。

③ハウス栽培など高収益農業への援助。

④新規農業者への援助。

⑤ガン研・在京浅川会などつながりを生かして消費拡大のPRをすすめる。

町長 ①漢方資材米の販路のでこ入れをし、多方面に浸透させ販売力を入れる。

②現在、JAと連携し各生産部会と話し合いを持ちながら進めている。

③JA浅川支部園芸特産部会に今年度も種子や苗の購入補助を行っている。資材高騰が続いているので何らかの支援を考えたい。

④今年度3件の新規就農の相談を受け、丁寧な対応をしている。町でも可能な限り後押しを考えたい。

⑤多方面へあらゆる媒体を活用して情報発信していきたい。

第4回

議会改革検討会を開催

議会の状況をよく知ってもらい、町民の期待に答えられる議会とするために、全議員が参加する「議会改革検討会」が、議員の総意で8月に立ち上げられ、第4回検討会が令和4年11月14日に開かれました。

第4回議会改革検討会では以下の点について検討・協議がされました。

①議会の個人情報の保護に関する条例について

個人情報保護法、行政機関個人情報保護法、独立行政法人等個人情報保護法の3本の法律を1本の法律に統合する等の個人情報保護制度の見直しにより、浅川町議会における個人情報の適正な取扱いのための、浅川町議会個人情報保護の保護に関する条例の制定が新たに必要となります。浅川町議会の個人情報保護条例

(案) について検討・協議した結果、職員の罰則を含む浅川町議会個人情報保護条例を制定することと決定しました。

②一般質問について

議長を除くすべての議員がそれぞれ1時間で実施すると、浅川町では2日間の日程が必要となるため、質問回数を5回までとし、答弁書についても、事前に提示する方向で執行と調整することになりました。

③予算及び決算特別委員会の設置について

「今のままで良いので

はないか」、「予算、決算の質問も5回できるようにすべき」、「予算の詳細な説明が必要」、「質問をしやすいうように課長補佐も本会議に出席すべき」、「特別委員会はつくらないで日程を増やして議論する」、「予備日を利用する」などの意見が出され、今後も協議して調整していくことになりました。

④常任委員会の活動について

「予算、決算だけでなく他のテーマでも活動すべき」、「議員が専門性を得るため、12月議会の初日、両委員会に分かれて協議し、町の当面の課題等について、理解を深める場にする」、「予算・決算は本会議で一括審議すべき」等の意見が出されました。



等の値上がりで苦しむ 低所得者に緊急支援

11月22日に臨時議会が召集されました。議案は一般会計の補正予算に関する2件でした。主な内容は、急激な諸物価高騰により苦境に立たされている事業者、畜産農家、住民税非課税世帯に支援策を講じるものでした。2件の議案とも全会一致で可決・承認されました。

11月22日付補正予算

一般会計予算に2965万円を追加し、総額は38億3137万円に。国庫補助金や予備費を使い、エネルギー価格高騰対策事業として事業者支援に400万円を計上しました。

事業者支援

従業員数に応じ5～50万円

問 従業員数に応じて5万円から50万円というが、その詳しい内訳の説明を。

答 従業員数に応じ交付した。事業主のみで従業員数がゼロが5万円、1人～5人が10万円、6人～20人が20万円、21人～50人以下が30万円、51人以上が50万円と考えている。

問 令和4年11月1日現在の常時雇用する従業員数に5～50万円と考えている。

【 お知らせ 】

エネルギー価格高騰対策支援金の交付について

新型コロナウイルスの影響に加え、エネルギー価格高騰により事業の運営に影響を受けている事業者に対し、支援金を交付いたします。

- 対象となる者
浅川町内で農林水産業以外の事業（建設、製造、卸売、小売、飲食、サービス、医療、介護、福祉、交通、運送等）を営み、継続して事業収入を得ている者で、2.の要件を満たし、反社会勢力等と関係のない者。
 - 交付の要件
今般のエネルギー価格の高騰により、経費の増加など事業の運営に影響を受けていること。また、常時雇用する従業員がある者については、その人数を明らかにできる書類を所有していること又は準備できること。
 - 交付金額
令和4年11月1日現在の常時雇用する従業員数
(事業主及び事業専従者は従業員に含まない)
- | | | | |
|------------|------|------------|------|
| 0人（事業主等のみ） | 5万円 | 1人から5人以下 | 10万円 |
| 6人から20人以下 | 20万円 | 21人から50人以下 | 30万円 |
| 51人以上 | 50万円 | | |

一般会計
予算
補正

電気・ガス食料品 事業者、農業者、

畜産農家支援

親牛1頭につき1万円

【質疑】

問 飼料高騰緊急対策事業補助金として、400万円が計上されているが、繁殖牛、肥育牛、乳牛、養豚ということだが、養鶏については該当するのか伺う。

答 400万円の内訳は繁殖牛農家が32件で、200頭で親牛のみが該当、肥育牛農家3件

で約100頭。酪農については、1件、成牛

50頭、養豚は、1件で20頭、養鶏については1事業所で15万羽を対象に補助金を交付する予定となっている。

繁殖牛、肥育牛、乳牛、養豚については1万円、養鶏については一律30万円としたいと考えている。



10月26日付補正予算専決

住民税非課税世帯

1戸につき5万円

問 電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金2500万円が計上され、1世帯5万円が500世帯に給付されるという事だが、対象の住民税非課税世帯の方はどのような方が多いのか伺う。

答 均等割非課税世帯の人が対象となっている。所得のある人の扶養になっっている方は対象外となっている。また、給与所得で今年退職して所得が減った方も対象にはならない。

2つの町村議会議員研修会へ 参加しました

令和4年度の町村議会議員研修会が、福島県及び石川地方の各主催で行われ、各地から参加議員が一堂に会する研修となりました。
ウィズコロナとして、様々な問題に立ち向かう議会の重要性を再認識しました。

福島県町村議会議員研修会

令和4年10月24日（月）午後1時からビッグパレットふくしま（郡山市）で、福島県町村議会議長会主催の議員研修会が行われました。東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏による「町村議会のあり方と今後の議会改革」と題した講演では、ウィズコロナを意識した地方議会のあり方を説いていました。また、「日本政治の行方」について政治ジャーナリストの細川隆三氏が政局の焦点として、自身の取材等から経験や見解を話されました。



— 10月24日開催研修会の様子 —

石川地方町村議会議員研修会

令和4年11月4日（金）午後3時から八幡屋（石川町）で、石川地方町村議会議長会主催の議員研修会が行われました。福島大学農学群食農学類長教授の生源寺眞一氏による「現代日本の食料・農業・農村」と題した講演では、中山間地域を念頭に農村のあるべき姿を模索する前向きな姿勢こそが本来の農村政策の取るべきスタンスと説いていました。講演後には活発な質疑応答が行なわれました。また、主催者の水野秀一議長会会長があいさつしました。



— 11月4日開催研修会の様子 —

議員紹介

1名欠員による浅川町議会議員補欠選挙が令和4年10月11日(火)告示され、当選された富永勉議員です。



議席番号1番
富永 勉

この度の議会議員補欠選挙を経て就任となりました。生まれ育った愛着ある浅川町のまちづくりに誠心誠意取り組んで参ります。初心を忘れず志を大切に持ち続けたいと思います。

思い出の一枚は、若かりし27歳頃、浅川町



町補助金等の見直し、職員定年引上げについて議会全員協議会を開催

令和4年11月22日臨時議会終了後、全員協議会が開催されました。

- 1 令和5年度当初予算に向けた補助金等の見直しについて
- 2 町職員の定年引上げについて
- 3 浅川中学校建設について

町補助金等の見直し

今後の公共施設の老朽化対策に係る財源捻出の一環として、一部の補助金等について令和5年度に向けて見直しを進めたい。

①固定資産税の全期前納報奨金については、

資力等のない納税者は

利用しづらいことや納税者間、他の税目と不公平が生じていること、口座振替の普及等により納期内納付が浸透し当初の目的が達成されたことで廃止したい。

②水田作物振興補助金については、町単独事業で加工米・飼料用米に1袋1000円、野菜の振興作物10ヶ当たり2500円補助しているが、飼料用米補助金は段階的に補助金単価を縮小し、振興作物についても助成対象作物を見直す方向とした。

【質疑】

問 前納報奨金は何件で金額はいくらだったのか。

答 1735件で77

8万2300円となっている。

問 水田作物振興補助金の飼料用米は段階的に縮小することだが全くなすことはあるのか。

答 補助をなくすことは考えていない。他町村の状況も考えて判断したい。

町職員の定年引上げ

国家公務員法の改正で定年が65歳に引き上げられたことに伴い町職員の定年も現行の60歳から65歳に令和5年度より段階的に引き上げるため条例を改正するもの。

【質疑】

問 国家公務員法が改正されるので地方公務員である町職員も改正しなければならぬのか。

答 国家公務員の定年を基準として各地方公

共団体において条例で定めるとの記載があるのでこの趣旨に沿って改正するものである。

浅川中学校建設

浅川中学校建設については、現在実施設計業務を進めている。

令和5年度から敷地造成、新校舎の建設工事着手し、令和6年度は校舎の建設工事に続き外構整備工事、校舎引越し作業、令和7年度は旧校舎解体工事、駐車場整備工事を進める予定になっている。

【質疑】

問 将来子どもが減っていくクラスが少なくなるのになぜ3階建てにするのか。

答 現在中学校1学年は30人学級となっている。令和10年度も2クラス必要であることから教室数はしばらく減らせないため。

レポート 追跡

あの提言はどうなってるの？

花火の里ニュータウン 道路の停止線改善を



その後、指導停止線が引き直されました

令和3年9月定例会

答

現地を確認し交通事故の発生が懸念されるような箇所は、指導停止線を設置するなどの検討をする。

問

花火の里ニュータウン内の道路の停止線が消えかけたり、見えにくい箇所がある。また、どちらが優先道路なのか分からない箇所もある。安全への配慮が必要である。

物価高騰への支援を

エネルギー価格高騰対策として町内の農林水産業以外の事業者に次の通り支援金が交付されることになりました。

— 常時雇用する従業員数 —

0人（事業主等のみ）	5万円
1人～5人	10万円
6人～20人	20万円
21人～50人	30万円
51人以上	50万円

令和4年6月定例会

答

商工業者や個人事業主へは、今後の国からの交付金を優先的に配分していく。

問

燃料や資材等の物価高は、いろんな業種に影響が出ている。農家以外でもクリーニング店や個人事業主などの商工業者への配慮も必要ではないか。

ふるさと 写真館

Vol.23
Photograph

交流のページ



昭和30年頃の七五三の風景（東林寺にて）／中里 芳賀久子さん提供

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-1182



昭和三十年十二月十四日
高度二〇〇米より撮影

昭和30年12月の浅川中学校の風景／荒町 水野剛雄さん提供



花卉專業農家
小針正毅さん

地域の独自性を活かした農業を
次世代の担い手に

私が就農したのは、昭和55年です。現在は、父から引き継いだ米作り（借受地含）3・5畝と、成長品目として関心のあった切花栽培を、3棟のパイプハウスで行っています。若い頃に描いた農業の形とは少し違う点もありますが、試行錯誤しながら現在に至るまで農業経営を続けてきました。

ここ数年は、春の田植えや秋の稲刈り時期に、子供達が農作業を手伝いに来てくれるようになり、助かると同時に、子供達の成長に頼もしく感じています。日本の農業は、後継者不足が叫ばれ、それに伴い、大規模な法人化や効率重視の農業経営をめざす動きは、今後とも必要であろうと思います。しかし、一方で町や村という小単位の地域内には小規模農

家も存在します。この地域で、知恵やアイデアを出し合い、その地域の独自性を活かしながら農業経営が成り立つように、行政と議会と農家の三者が連携し、次世代の担い手に提案できるものを見つければ、もう少し、もう少し頑張っていきたいと思っています。



この度、広報特別委員会のメンバーとなりました。よろしくお願いいたします。
議会だよりを通して、わかりやすい議会へ情報の発信に努めて参ります。
町民の声を大切に、皆様と共に「新しい景色」を作っていきましょう。
梅のつぼみもほころび、春はもうすぐそこ。お体にはくれぐれもお気をつけ下さい。

富永 勉

広報特別委員会／上野信直 渡辺幸雄 会田哲男 兼子長一 菅野朝興 富永 勉

編集後記